

○土曜ガイドウォーク

1. 日時：2020. 12. 12 (土) 10:00~12:10 天気 晴れ
2. リーダー：T ききみみメンバー：2名
3. 参加者数：大人 5名 子供 0名 対象者：どなたでも
4. ねらい：常緑樹や落葉樹の違いを見つけ、樹木を枯らす要因についても触れる。
5. 活動場所：センター～中央広場～湿原東屋～貯水池～センター
6. 活動内容：落ち葉を踏みしめながら、自然の色探しをするとともに、主な樹木の特徴を見つける。
水鳥の観察をする。

時間・場所	内 容
10:00 センター前	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、自己紹介 ・活動の流れについて説明。カード「森の色あわせ」を配布。 ・縁起物 マンリョウ・・・万両～1両について ・常緑樹の工夫 アラカシ・・・葉は革質(クチクラ層) ・材を枯らすのは、誰? ①カワラタケー胞子を作る管孔の観察。豊かな土壌を作る分解者 ②マツノマダラカミキリとマツノザイセンチュウ ③カシノナガキクイムシとナラ菌 ・樹木の生命力 コナラの黄葉を見上げて深呼吸 地上の根、折れた枝の修復 ・樹皮でパズル 剥がれ落ちた樹皮の元の場所探し ・落葉樹 ヤマコウバシ、タカノツメ・・・落ち葉の匂いを嗅ぐ。 ・特徴のある樹皮、花 クロバイ、ウワミズザクラ、 名前の由来などを解説。 ・虫えい・雌雄異株 ソヨゴ、イヌツゲ ・マツ枯れ伐採後の年輪
湿地東屋 貯水池	<ul style="list-style-type: none"> ・観察した草木を想起しながら「森の色合わせ」をする。 ・水鳥の観察 ハシビロガモ、キンクロハジロ他
12:10	・アンケート、次回ミニガイドの案内、解散

7. ふりかえり
 - ・写真資料をもとに詳しく説明され、分かりやすくてよかった。
 - ・材を枯らす生き物に関する写真が見やすかった。
 - ・「森の色合わせ」をすることで歩いた所を思い出し、観察した草木と照合できた。
 - ・要所、要所に観点がおり、2kmの同じコースを歩いても色々と違った見方ができた。
8. リーダーの感想
 - ・11月と違って子供の参加者がいなかったので、森が抱える課題(マツ枯れ、ナラ枯れ)についても触れることにした。
 - ・取り上げた観察樹木を観点別に整理して説明した。
 - ・「森の色合わせ」や深呼吸、パズルなども取り入れた。
9. その他(資材・配慮など)
 - ・資材：カード「森の色合わせ」、写真資料、フィールドスコープ、「水辺の鳥」資料